



支えてくれた人へ、感謝の気持ち

〇〇 〇〇

私は、大学時代、昼間は都内にあるスーパーの精肉・鮮魚コーナーでアルバイトをし、夜になったら学校に行く生活を毎日続けていました。終電に近い電車で帰宅するため、自宅に着く頃は日付が変わります。体力的に大変でしたが、やめたいと思ったことはありませんでした。むしろ同じ生活をしている友人、アルバイト先の職員、両親など、周りの人達から多くのことを教わり、支えてくれた人たちに感謝の気持ちを持っています。

私の周りにいた友人は、年齢、出身地、職業などが違う人達でしたが、アルバイト先で失敗して落ち込んだ時に話を聞いてもらったり、相談にのってもらったりしていました。短い時間での会話だったのですが、お互いに励まし合うことで「明日も頑張ろう。」という気持ちを持つことができました。既に退職し、第2の人生として学生となった方には、困ったことを相談するたびに、不安を一つずつ減らしてもらった気がします。苦労した人ならではのアドバイスでしたが、優しさとは心の強さであることを教わりました。

アルバイト先でお世話になった職員の方々には、とても親切にしてもらいました。仕事の要領がつかめず、イワシや生イカのなどのパック詰めが上手くいかなかった時に丁寧に教えてもらい、次につながる意欲を持つことができました。また、作業場の掃除が長引いて商品の陳列が間に合わなかった時にたくさん助けてもらいました。みんなの働く姿から、人の動きをよく見て、周りの状況にあった行動をすることを教わりました。

一番の心の支えになったのは、両親の存在です。夜学に行くことを決めた時、「自分で決めた道だから頑張りなさい。」と背中を押してくれました。家には寝るために帰っているようなもので、慌ただしい生活を送っていましたが、よく風邪をひく私の体調を気遣ってくれたり、明るい話題で楽しませてくれたりしました。はっきりと言葉にしていなかったと思いますが、「応援しているよ。」「見守っているよ。」の気持ちは伝わりました。

私は周りにいる、いろいろな人達に支えられてここまで来ました。一人だったら、あきらめることやつらい状況から逃げることを優先していたかもしれません。今度は自分が周りの人達を支える番です。自分を支えてくれた人達の温かい気持ちに感謝し、恩返しをしていきたいです。



外国人になったわたし

〇〇 〇〇

外国人になったことがあります。インドネシアの首都ジャカルタに3年間赴任しました。そこは南半球、赤道直下の国。熱帯の国は、1年を通じて暑いです。

日本人としての感覚が全く通じないと言ったら言い過ぎかもしれませんが、とっても違うのです。戸惑うことやイヤになりそうな時も多々ありました。でも、私は外国人。合わせるのは私。変わらないといけないと思いました。まずは、受け入れることから始めないといけません。でもそれがなかなか難しい。

イスラム教徒が人口の約9割を占め、断食月のラマダン等、宗教行事が何よりも優先されるとともに、キリスト教やヒンドゥー教等も認められている国です。

貧富の差はとても大きく、スラム街の隣に高層ビル。我が家には、住み込みのメイドに、通いの運転手が1人ずつ。掃除、洗濯はしたことがありません。自分の車なのに、道路で運転したことはありません。

路線バスには乗ったことがありません。そもそもバス停がよくわかりません。手を上げたらバスは停まってくれるようですし、好きな所で降りられるようです。タクシーは会社を限定しての乗車。メーターが壊れているタクシーに乗ったときは怖かったなあ。

左側通行ですが、交通ルールはよくわかりません。2人乗り、3人乗りのバイクが右から左から、車の脇をすり抜け、逆走はあり。赤信号なのに前の車は進んでいくので、付いていけないといけない雰囲気です。

学校やマンションの入口のセキュリティは万全です。ホテルや大使館が爆破されてからというもの、入口にはマシンガンを携行した軍人が警備しており、空港のような金属探知機は至る所に配置されています。安心です。

日本ではありえませんが、これらを受け入れられるようになってから、インドネシアが好きになりました。同時に日本がさらに好きになったようです。

心細く、日本が恋しくなると、日本食スーパー、日本食レストラン。貴重でおいしい「和」なのです。ジャワ島で食べるハウスジャワカレーは、とってもおいしいですよ。私の勤務地も、日本人のための日本人学校です。

外国で見る日の丸には安心感を覚えますし、JALの赤いマークにさえ、身近な印象です。熱帯の国で寒すぎるほど冷やされたエアコンの風とは違い、冬の寒さには、心地よさも感じます。

インドネシア語を覚え、インドネシア料理を味わい、外国人としての生活を楽しまたいと思っていました。その国を大好きになることはできますが、その国の人にはなれません。外国から日本を見て、やっぱり私は日本人だと強く思うのです。

インドネシアは面白い国でした。